

出張所名	学 校 名	研 究 内 容	期 日
信 夫	福島市立福島第四小学校	○簡易サッカーを中心とするボール運動の系統的指導の研究 ○意欲的に活動させ技能を向上させるための学習指導法の研究	
安 積	郡山市立芳賀小学校	○器械運動を主とした技能を高める指導	10.22
西白河	矢吹町立矢吹小学校	○器械運動の系統的指導	10. 9
田 村	小野町立小野新町小学校	○つまづきをなくす指導法のくふう	10.15
北会津	会津若松市立一箕小学校	○陸上運動を基礎とした運動能力の向上をはかるにはどうするか	10.23
石 城	平市立平第六小学校	○器械運動の段階指導について	10.14
相 馬	相馬市立中村第一小学校	○器械運動の段階指導	10.17
東白川	矢祭町立豊里中学校	○中学校における、より速く、より高く、より遠くするための指導法の改善	10.10

結果 共通テーマの「体育施設設備の充実と改善・くふう」では、いづれの学校においても積極的に地域社会の協力を得て充実整備をはかり、創意くふうによる設備、自作による使いやすい用具など体育的価値の高い設備、用具を整備して体育授業時はもちろん、自由時における児童生徒の利用度を高め体位、運動能力の発達、技能の向上に寄与した。また各学校のテーマについては、系統的段階的な取り扱いと充実した指導法により、児童生徒の運動に対する意欲がもり上がり、体育設備、用具の充実と相まって、運動の生活化に多大の効果をあげ、技能、態度など一段と向上し、各管内学校への啓蒙に大きな力となった。

9 第六回福島県学校体育研究大会

教育課程は、小学校、中学校および高等学校の一貫性をもつものであり、それぞれの学校では熱心に実践と研究が続けられているが、これら県下の学校体育関係者一堂に会し、授業研究、研究発表、実践報告を行ない、また協議しあって、問題の解明や指導力の向上をはかるべく研究大会を実施した。

- (1) 期日 10月17日、18日の2日間
- (2) 場所 相馬市立中村第一小学校
- (3) 参加者 350名
- (4) 講師 東京教育大学教授教育学部長
文学博士 梅根 悟

「演題」体育と人づくり

(5) 内容 第一日は会場学校の公開授業と研究発表、研究協議会などを行なった。その内容は器械運動の段階指導を中心とした研究で、2年間継続して研究実践した発表であり、綿密な指導計画と充実した指導法により児童の体力の向上、技能の発達、望ましい態度の育成にいちぢるしいものがあつた。第二日は7名の一般参加者の研究発表と講演を行ない意義深く盛会裡に

終了した。

10 昭和38年度学校体育担当者格技講習会

文部省主催学校体育担当者格技講習会の伝達をなし、中学校および高等学校の格技（柔道・剣道）の指導内容を研究し実技の指導力向上をはかり現場における問題点の解明に資するため実施した。

- (1) 期日 11月14日、15日の二日間
- (2) 場所 福島県立福島高等学校
- (3) 参加者 62名
(柔道 中学校14名 高校20名)
(剣道 中学校20名 高校8名)

(4) 講師

福島県教育委員会事務局保健体育課
指導主事 鈴木正一
磐城高等学校教諭 鈴木 守
福島商業高等学校教諭 安斎泰見
福島高等学校教諭 藤田利雄
下郷村立檜原中学校教諭 佐藤通弘
信夫村立信夫中学校教諭 松田朋介

(5) 内容および結果 年間計画の展開、指導上の問題点について研究協議をなし、実技については基本動作から対人技能の効果的指導法と簡易な試合と管理にいたるまで内容としては広範囲にわたるものであったが、講師受講者一体となつての熱心な活動により二日間の短い日程にもかかわらず、よく消化し効果をあげた。問題点としては、指導法と指導者の格技技術については研究実技研修により効果的な向上は期待できるが、剣道場、柔道場および柔道着、剣道防具などの施設用具の充実整備については相当の難点があり、その充実整備について何らかの対策の要があると考えられた。